

1. 評価結果概要表

評価確定日 平成20年 7月30日

【評価実施概要】

事業所番号	2272300571
法人名	医療法人財団 百葉の会
事業所名	グループホーム おとなりさん
所在地 (電話番号)	静岡県富士市五貫島 160-1 0545-66-5500
評価機関名	セリオコーポレーション株式会社
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町 4番1号
訪問調査日	平成20年04月28日(月)

【情報提供票より】(平成20年03月15日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 14 年 02 月 01 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 7 人, 非常勤 1 人, 常勤換算	8.0 人

(2)建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	木造準耐火 造り	
	1 階建ての	階 ~ 1 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	33,500 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	250 円	昼食 250 円
	夕食	300 円	おやつ 0 円
	または1日当たり 800 円		

(4)利用者の概要(平成20年03月15日)

利用者人数	9 名	男性 0 名	女性 9 名
要介護1	0 名	要介護2	1 名
要介護3	5 名	要介護4	2 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 86.0 歳	最低 73 歳	最高 95 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	湖山病院 ・ 大松歯科医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人の湖山医療福祉グループは、全国で24法人・250余の施設があり老人医療・福祉分野で緩やかに連携しながら「自らが受けたいと思う医療と福祉の創造」を基本理念として活動している。静岡県内にもいくつものグループホームがあり「おとなりさん」はその一つとして、富士市内の湖山病院や隣接する老人保健施設「ききょうの郷」との連携の基に「自分らしく 生き生き 暮らしたい」というホーム独自の理念を掲げ、利用者本位の支援をしている。体調不良で管理者が交代したが、全家族一人ひとりとの対話を行い、ホームの原点に返った活動を展開している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	評価の意義を理解し、昨年の改善指摘項目は殆ど改善されていた。特に家族との対話の中から、自らの理念の共有化が図られている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価票の取り組みについては、管理者の交代もあり責任者を中心とした取り組みになっていた。新任の職員も居り、自己評価票作成に職員全員で取り組むことが、更に評価の意義を理解し改善に結びつく早道だと思われる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	平成18年4月の法改正に対し、平成18年5月から運営推進会議が2ヶ月に1回着実に開催され、そこでの意見をサービスの質向上に生かしている。重要事項説明書13項に運営推進会議の開催を明確に謳っており、他の模範となるケースである。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	毎月1回担当者から家族に手紙を書き、利用者一人ひとりのホームでの暮らし振り・預かり金の残高等を報告している。家族等のご意見・不満・苦情等にはその都度誠実に対応し記録にも残しているが、重要事項説明書に苦情等の申し立て窓口やホームのみならず市・国保連等の外部機関の記載も望まれる。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	職員の17の係分担当の中で計画し、地域行事への参加や近隣幼稚園との交流、ボランティアの受け入れもしており、地元の人々との交流に努めている。

2. 評価結果(詳細)

(☐ 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の基本理念として「自らが受けたいと思う医療と福祉の創造」を掲げ、ホーム独自の理念として「自分らしく 生き生き 暮らしたい」を皆で話し合って作成し、利用者が地域の一員として認識できるようにしている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム理念を各所に掲示し理念の徹底を図り、その実践と「老いていくのが怖くならないための介護」に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域行事に参加し、近隣幼稚園との交流やボランティアの受け入れもしており、地元の人々との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を理解し、昨年の改善指摘項目は殆ど改善されていた。しかし今回の自己評価票の取り組みについては管理者の交代もあり、責任者を中心とした取り組みになっていた。	○	新任の職員も居り、自己評価票作成に職員全員が取り組むことが更に評価の意義を理解し改善に結びつく早道だと思われる。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	平成18年4月の法改正に対し平成18年5月から運営推進会議が2ヶ月に1回着実に開催され、そこでの意見をサービスの質向上に生かしている。重要事項説明書13項に運営推進会議の開催を明確に謳っており、他の模範となるケースである。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政との連携で「富士市内グループホーム合同交流会」等があるが、管理者のみの対応で職員が参加している状況は見られなかった。	○	折角の交流の場を生かし、職員も交互に参加・訪問・受け入れ等を通じてホーム及び地域の更なるレベルアップを期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月1回担当者から家族に手紙を書き、利用者一人ひとりのホームでの暮らし振や預かり金の残高等を報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等のご意見・不満・苦情等にはその都度誠実に対応し記録にも残している。重要事項説明書に外部の受付機関の記載が見られなかった。	○	苦情等の申し立て窓口は、ホームのみならず市・国保連等の外部機関の記載も望まれる。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	前管理者の体調不良や職員の退職により一時的に家族から心配の声が聞かれたが、職員も補充され家族一人ひとりとの面談・家族会での説明により馴染みの支援が受けられるようになっている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	仕事を通じてのOJTや月2回の法人内研修に参加すると共に、外部研修への参加を促しサービスの質向上に努めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	富士市のグループホーム合同交流会や富士宮市との合同のグループホーム協会に参加して意見交換や交換研修を行い、同業者と共にサービスの質向上に取り組んでいる。また、年1回の内部監査を同業者の状況を学ぶ場として活用している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用開始にあたり、本人だけでなくできる限りご家族にも同席して貰い日常の利用者の姿を通してホームの雰囲気に慣れてもらうようにご家族等と相談している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に笑い、楽しみながら日々の暮らしを支え合うよう努力している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は常に利用者に声をかけ、表情などから利用者の意向を確認をするようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員同士の定期的なサービス担当者会議・ホーム会議で意見交換やモニタリングを行い、また、本人・ご家族の方とも話し合い介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しについては、3ヶ月に1回サービス担当者会議・ホーム会議等に職員全員が参加してモニタリングを行い、関係者との話し合いを通して計画変更を行っている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	隣接する老人保健施設「ききょうの郷」の行事の活用・母体「湖山病院」の定期的な往診等、多機能を生かした柔軟な対応をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人やご家族が希望するホームドクター制となっている。また、事業所の協力医と関係を築きながら支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人やご家族の意向、また本人にとってどうあったら良いのか、事業所が対応しうる支援方法方針を話し合っているがまだ対応の指針やマニュアルは出来ていない。	○	明確な指針やマニュアルを作成し、管理者・職員全員で意見交換をして共有化を図り対応されたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員全員がプライバシーや個人情報に対する重要性をしっかり認識し、言葉掛けには十分注意している。また写真など提示する時は、ご家族の同意を得ている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	理念である「自分らしく 生き生き 暮らしたい」を大事にし、利用者の希望にそって支援をしている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ご家族の方の差し入れなどがよくあり、体調面を考えながら利用者と職員と一緒に献立や食事の準備・片付けをしている。職員に調理士が居り、美味しい昼食を共にできた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望する時間帯に出来るだけ入浴を、楽しめる様に努力しており、夜間入浴等も検討しているが、やむを得ず職員の都合に合わせている。	○	職員体制も整った現在、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴支援できるよう検討されたい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	笑顔で日々を過ごせる様に、職員の係分担表でレクレーション・散歩・合同行事・夏祭り・家族会・ボランティア対応等、17の係にメインとサブが定められており、一人ひとりの様子を見ながら支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	全職員で企画書を活用し利用者中心に戸外へ出掛けられるように支援している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員が利用者の安全面に配慮して日中は玄関の鍵を掛けない。中庭に自由に出入り出来る様、自由な暮らしを支援している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	自治会及び地域住民の協力を得ながら、定期的に避難訓練等を行っている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日を通じて全体の食事量や水分量など、どの程度取れているか確認しているがカロリー計算・栄養バランスなど細かい点での支援が不足している。	○	今後、定期的に管理栄養士等に専門的なアドバイスをもらう様検討されたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は天井が高く、木材など多く使用され香り豊かで光が沢山入り、また随所に長イスがあり利用者にとって居心地よく暮らせるような工夫をしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の希望するように本人がご自宅で使用していた物を持ち込み飾ったりして、ご家族と共に相談しながら安心して暮らせるように配慮している。各居室の入り口に棚があり、一人ひとりに相応しいお花やお人形が飾られていた。		